

ちがさき

くらしの情報

…イベント

…講座

…相談

…案内

…募集

…表彰

◆申込欄に詳細がないものは問合へ☎(市役所は☎(82)1111・来庁(来館・来所)で開庁(開館・開所)時間内に申し込み

明記のないものは

●持ち物はお問い合わせください ●費用は無料

凡例

☎電話

☎ファクス

✉電子メール

🏠ホームページ

(☎・☎に局番がないものは、全て市内(0467))

対象 20歳以上の方15人(申込制(先着))
申込 4月20日(土)～鳶田☎(87)3140へ
ほか 費用200円(資料代)
問合 文化生涯学習課生涯学習担当

平和学園JAZZ LIVE CONCERT SHONAN 2019

日時 5月18日(土)14時～16時(13時30分開場)
場所 平和学園賀川村島記念講堂
内容 秋満義孝さん(ピアノ)、五十嵐明要さん(アルトサクソ)、ジャンボ小野さん(ベース) 他出演
ほか 入場券2000円。川上書店(茅ヶ崎ラスカ店)、長谷川楽器店本店などで販売(自由券・当日券あり)
問合 平和学園事務室☎(87)0131

防災・消防

第1回危険物取扱者試験(乙種第4類)のための受験準備講習会

日時 5月18日(土)9時30分～17時
場所 市役所分庁舎6階コミュニティホール
定員 150人(申込制(先着))
申込 5月17日(金)までに申込書(市役所予防課で配付中。県危険物安全協会連合会🏠で取得も可)を持参
ほか 費用9400円(申し込み時に支払い)
問合 予防課危険物担当

広げよう 救命の輪 普通救命講習会(救急法)心肺蘇生法、AEDの使用法ほか

日時 ①5月18日(土)13時30分～16時30分②5月22日(水)13時30分～16時30分③5月22日(水)18時～21時④6月1日(土)9時～12時⑤6月4日(火)9時～12時
場所 ①鶴嶺公民館②③⑤消防署北棟④松林公民館
対象 市内在住・在勤・在学中で中学生以上の方各25人(申込制(先着))
申込 ①4月16日(火)～5月9日(木)に鶴嶺公民館☎(87)1103へ②③4月15日(月)～5月14日(火)に☎で消防指導課へ④5月1日(水)～24日(金)に松林公民館☎(52)1314へ⑤5月7日(火)～28日(火)に☎で消防指導課へ
ほか 受講者には修了証を発行。救命技術・知識の維持向上のため、2年ごとの受講を推奨
問合 消防指導課消防指導担当☎(85)4594

女性専用普通救命講習会(救急法)心肺蘇生法、AEDの使用法他

日時 5月26日(日)9時～12時
場所 消防署北棟
対象 市内在住・在勤・在学中で中学生以上の女性25人(申込制(先着))
申込 4月22日(月)～5月17日(金)に☎で
ほか 受講者には修了証を発行
問合 消防指導課消防指導担当☎(85)4594

避難通路の確保と維持管理の徹底を

物品販売店、小規模雑居ビルやグループホームなど

で火災が発生した時に避難で使う通路や階段、防火戸付近に物品が放置されていると、避難が困難となります。消火活動の支障にもなり大変危険ですので、避難通路の確保と維持管理の徹底をお願いします。
問合 予防課査察指導担当

福祉

地域密着型サービス 事業者の公募

期間 5月7日(火)～7月31日(水)
内容 看護小規模多機能型居宅介護事業所の設置・運営を行う事業者の公募
ほか 詳細は市🏠参照
問合 高齢福祉介護課支援給付担当

ボランティア大学～新たなボランティアの発掘と活動への理解を促進しよう(全7回)

日時 5月9日～6月20日の毎週木曜日9時30分～12時
場所 さがみ農協茅ヶ崎ビル
内容 ボランティア活動に関する講義、活動者や当事者からの体験談、福祉体験など
対象 市内在住・在勤で福祉のボランティア活動初心者100人(申込制(先着))
申込 4月26日(金)までに☎で(住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、受講動機を記入し、☎(85)9651または✉vc@shakyo-chigasaki.or.jpも可)
ほか 基礎講座終了後、録音、手話、誘導、点字、布おもちゃ、ケアサポート、要約筆記などの選択コースあり
問合 茅ヶ崎市社会福祉協議会☎(85)9650

日常生活やボランティア活動に生かす ところを聴き、ここに寄り添う傾聴講座

日時 6月3日・17日・24日、7月8日いずれも月曜日9時30分～11時30分(全4回)
場所 勤労市民会館他
講師 鈴木しげさん(NP0法人シニアライフセラピー研究所理事長)
定員 30人(申込制(先着))
申込 5月25日(土)までに☎で(住所・氏名・電話番号を記入し、☎(52)8361または✉saitosanchi822@yahoo.co.jpも可)
ほか 費用3000円(全4回分)
問合 地域のお茶の間研究所さろんど☎080(6529)2707 大森

ゆずクラブ～楽しく運動、体力向上

日時 5月15日～10月16日の毎月第3水曜日10時～11時
場所 茅ヶ崎地区コミュニティセンター
対象 おおむね65歳以上の方(当日先着)
問合 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず☎(84)5830

いきいき脳の健康教室～「読み・書き・計算」などの脳のトレーニングで認知症予防

日時 6月～10月の毎週木曜日①10時15分～10時45分②11

時～11時30分(いずれも初回と最終回は9時30分～)

場所 シルバー人材センター(生きがい会館2階)
対象 次の全てに該当する方各回16人(申込制(抽選))
○市内在住でおおむね65歳以上○1人でも教室に通える○認知症の診断を受けていない○毎週教室への参加と毎日10分程度の自宅学習が可能
申込 4月15日(月)～5月15日(水)に☎または申込書(市役所高齢福祉介護課、小出支所、各出張所、各公民館などで配布中。市🏠で取得も可)を持参
ほか 費用6月～9月は各月2360円、10月は2400円(消費税率変更による費用改定あり)
問合 高齢福祉介護課生きがい創出担当

転倒予防教室～ストレッチ、簡単な筋力運動、介護予防の話、ちがさき体操など

対象 市内在住で65歳以上の方
ほか 費用1回200円。運動しやすい服・靴着用。飲み物持参。病気の方は主治医へ相談。申し込み不要

日程(5月)	時間	場所
2日(木)	10時～12時	茅ヶ崎地区コミュニティセンター
		さがみ農協茅ヶ崎ビル
7日(火)	10時～12時	パルパル湘南スポーツクラブ※
8日(水)	10時～12時	うみかぜテラス(体験学習センター)
	14時～16時	鶴嶺西コミュニティセンター
9日(木)	10時～12時	青少年会館
	14時～16時	松浪コミュニティセンター
10日(金)	10時～12時	ダンロップスポーツクラブ茅ヶ崎店※
12日(日)	9時30分～11時30分	小和田公民館
	10時～12時	汐見台パシフィックステージ※
14日(火)	14時～16時	松林ケアセンター※
15日(水)	14時～16時	ハマミーナ※
	10時～12時	浜須賀会館
16日(木)	10時～12時	小和田地区コミュニティセンター※
17日(金)	14時～16時	鶴が台団地※
	10時～12時	小出地区コミュニティセンター※
19日(日)	14時～16時	高砂コミュニティセンター
21日(火)	10時～12時	茅ヶ崎たすけあいひろばぽかぽか※
22日(水)	10時～12時	萩園いこいの里
23日(木)	14時～16時	鶴嶺公民館
24日(金)	10時～12時	しおさい南湖
	10時～12時	香川公民館
	14時～16時	鶴嶺東コミュニティセンター
	14時～16時	香川公民館
28日(火)	10時～12時	海岸地区コミュニティセンター※
	10時～12時	コミュニティセンター湘南

※印の会場は上履きを持参

問合 高齢福祉介護課支援給付担当

産業・雇用

就職支援 「求職者のためのパソコン基礎講座ワード編」

日時 5月13日(月)～16日(木)18時30分～21時30分(全4回)

(5面へ続く)

茅ヶ崎ゆかりの人物たち

第七回 榎有恒



1924年頃の榎有恒

榎有恒は、スイスのアイガー東山稜世界初登攀、カナダのアルバータ山の世界初登頂などその偉業によって日本のアルピニズム黎明を支えた登山家です。彼が茅ヶ崎に居を移した後、隊長として挑んだ8000級級の未踏峰マナスルの登頂成功は、戦後復興中の日本を大いに励ました。

近代登山の発展に貢献

榎は1894年、宮城県仙台市に生まれました。1912年、慶應義塾大学予科に進み、その後、教授のすすめで日本山岳会に入会。さらに慶應義塾山岳会を設立し、日本アルプスを中心に登山活動を行いました。

大学卒業後は米国のコロンビア大学に留学し、ロンドンを経てスイスのグリンデルワルトに滞在。ここを拠点としてアルプスの登山に専念することにした榎は、登山用具を調べ、その取り扱いを習得しました。当時日本ではわらじ履きで山を登っていました。が、欧州の登山技術を本格的に導入した最初の日本人となりました。

1921年、難攻不落とされていたアイガー東山稜初登攀に成功。このニュースは欧州の登山界にも伝わり、27歳の若さで「世界のマキ」と称賛されました。帰国後の1925年には、カナディアン・ロッキーのマウント・アルバータ初登頂に成功。その折に、支援者の細川侯爵から預かった侯爵のM・T・Hのイニシャル文字が刻まれたピッケルを山頂に立てました。

日本人初8000級峰の登頂に成功
日本山岳会会長に就任するも

横浜で戦災に遭い、長野に疎開した榎は、1947年に妻の実家の別荘がある茅ヶ崎に転居しました。ヒマラヤの8000級峰・マナスルに登ることが決まってからは、身体を鍛える目的で登山靴に登山用の半ズボンをはいて、茅ヶ崎海岸を中海岸から相模川辺りまで往復していました。ピッチを早めたり、時には休憩したりしながら2時間ほどかけて歩いたそうです。



マナスル登頂を記念する郵便切手

1956年、第三次日本山岳会マナスル登山隊に隊長として参加し、史上初めて登頂に成功しました。この快挙は日本人に自信を与え、隊員たちは国を挙げて祝福を受けました。記録展は欧米でも展示され、登頂を記念する切手も発行されました。

榎は茅ヶ崎に転居して以後、95歳で亡くなるまでこの地を離れることはありませんでした。

茅ヶ崎ゆかりの人物館では、4月20日(土)～9月29日(日)に企画展「登山家・榎有恒く山を尊び、自然を愛した日々」を開催します。榎有恒の功績や茅ヶ崎での生活を貴重な資料とともに紹介します。

【文化生涯学習課市史編さん担当】